

令和8年度 会計年度任用職員(産学連携)募集要項

- 1 勤務内容** 産業活性化の推進に関する事務
- (1) 中小企業の経営課題全般の解決及び人材育成の支援
 - (2) 生成 AI やデジタル化等の支援
 - (3) 新製品及び新技術開発の支援
 - (4) 産学公金等の連携やスタートアップとの連携及び企業間ネットワークの構築・強化
 - (5) 主に区内中小企業への巡回訪問
 - (6) その他、経営支援課長が指示すること
- 2 勤務場所** 荒川区 経営支援課 産業活性化係(区役所本庁舎6階)
- 3 必要な経験等**
- (1) 中小企業の経営課題解決のために、優れたコンサルティング能力を有し、経営者等に寄り添ったハンズオン支援の経験がある方
 - (2) 生成 AI やデジタル化等を活用した支援の経験がある方
 - (3) 産学公金等や企業間連携の支援経験がある方
 - (4) スタートアップ関連事業における支援の経験がある方
- 4 免許・資格** 中小企業診断士又は中小企業診断士と同等の能力(企業経営、マーケティング、モノづくり、販路開拓、ICT、デジタル化等に関する専門的知識や経験)を有すること

※なお、地方公務員法第16条の規定及び荒川区暴力団排除条例第2条第1号から第3号に該当する方の応募はできません。

地方公務員法第16条(欠格条項)

次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることはできない。

- 1 禁錮以上の刑に処され、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 2 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分日から2年を経過しないもの
- 3 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第 60 条から第 63 条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入したもの

※ 平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣言を受けている者(心身耗弱を原因とするもの以外)は選考を受けることができません。

荒川区暴力団排除条例第2条

この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 1 暴力団 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団をいう。
- 2 暴力団員 法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。
- 3 暴力団関係者 暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者をいう。

5 募集人員 1人

6 雇用期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

※採用から原則1 か月は条件付採用期間となります。ただし、任用後1 か月の勤務日数が15日に達しない場合は、その日数が15日に達するまで延長します。
※勤務成績が良好と認められた場合は、翌年度に再度任用する場合があります。
(原則65歳未満)

- | | |
|-----------|---|
| 7 勤務時間 | 午前9時30分～午後5時15分(休憩60分) |
| 8 勤務日数 | 週4日 |
| 9 報 酬 | 月額 281,272円
※ 給与関係条例、規則等の定めにより、期末手当あり。
※ 交通費は実費を支給。ただし、限度額あり。
※ 健康保険、厚生年金、雇用保険あり。
※ 年次有給休暇等各種休暇あり。 |
| 10 服 務 | 地方公務員法の服務規程の遵守 |
| 11 条件付採用 | 地方公務員法の規定に基づき任用日から1か月間は条件付採用です。 |
| 12 申込方法 | 次の応募書類を荒川区経営支援課に持参又は郵送してください。
(1)履歴書(市販のもの)
(2)作文(400字程度、用紙自由)
【どのように産学連携推進員の業務に取り組んでいきたいか、これまでの経験を踏まえて述べてください】
※ 応募書類は返却します。 |
| 13 申込締切 | 令和8年2月16日(月)必着
(持参の場合の受付時間は、土日祝日を除く午前8時30分～午後5時) |
| 14 選考方法 | 一次選考:書類選考 ※2月中旬予定
二次選考:個別面接(一次選考通過者のみ) ※2月下旬予定
※ 二次選考日時等は、一次選考通過者にのみご連絡します。 |
| 15 結果通知 | 一次選考及び二次選考の結果は、郵送または電話により連絡します。 |
| 16 応募・問合せ | 〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区経営支援課(区役所本庁舎6階)
電話 03-3802-3111 内線 457 担当 森下 |